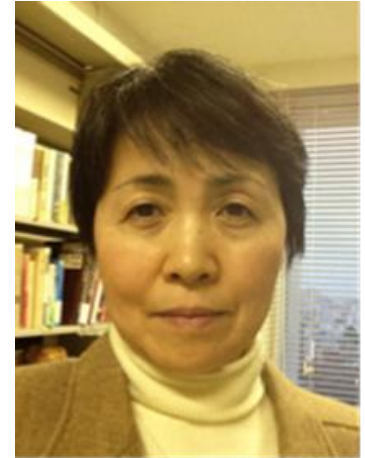


森 裕子

神学部 神学科 准教授 (もり ひろこ)



研究テーマ

音楽学、キリスト教信仰と音楽の出会い。特に西欧中世における詩編唱、および第2ヴァチカン公会議前後の典礼運動の中での詩編唱の発展、また美学的観点から見るキリスト教音楽

主な授業担当科目

キリスト教と音楽芸術Ⅰ・Ⅱ、キリスト教音楽美学研究Ⅰ・Ⅱ、キリスト教人間学 など

学歴・職歴・取得学位・受賞歴

1983/03/31 国立音楽大学音楽研究科音楽専攻 修了 修士(音楽) ■1993/03/31 上智大学神学部卒業 ■
1999/06/30 オタワ大学音楽学部修士課程終了 MA ■2001/09/01 エリザベト音楽大学音楽研究科宗教音楽専攻博士課程修了 博士(音楽)
職歴：エリザベト音楽大学勤務(1999~2008) ■援助修道会パリ総本部役員(2008~2013)
受賞：1999/09/01 オタワ大学人文学系最優秀修士論文受賞 ■2008/02/01 立教大学第20回辻荘一・三浦アノナ記念学術奨励金受賞

主な著書・論文等

「西洋中世のキリスト教会における音楽教育」『音楽の思想と教育』第一巻(共著)、2005年。 ■「15-16世紀におけるL'homme armé ミサ曲の伝統1：定旋律の考察と伝統の概観」『エリザベト音楽大学研究紀要XXIV』、2004年。 ■「単旋アンティフォナの旋法判断をめぐる諸問題 Ipsi vero とそれに類するアンティフォナの場合」『音楽学』49-2、2004年。 ■
“Conflicting Assignments of Office Antiphons between Modes 3 and 8” in *Studia Musicologica* XLV (2004) 1-2. ■「15-16世紀におけるL'homme armé ミサ曲の伝統2：伝統の起源と発展に関する音楽学研究の動向」『エリザベト音楽大学研究紀要XXV』、2005年。

所属学会

日本音楽学会、International Musicological Society, IMS Study Group 'Cantus Planus'

教育・研究活動

一方で、語る方としての神と、他方で、ことばを聴き、受け止め、そしてことばが響いている存在としての人間、その両者の間の関わり、あるいは人間同士の響き合う関わりについて、音楽演奏活動や、音楽学の教育と研究を通して、また祈りの同伴とその理論の研究をとおして探求している